

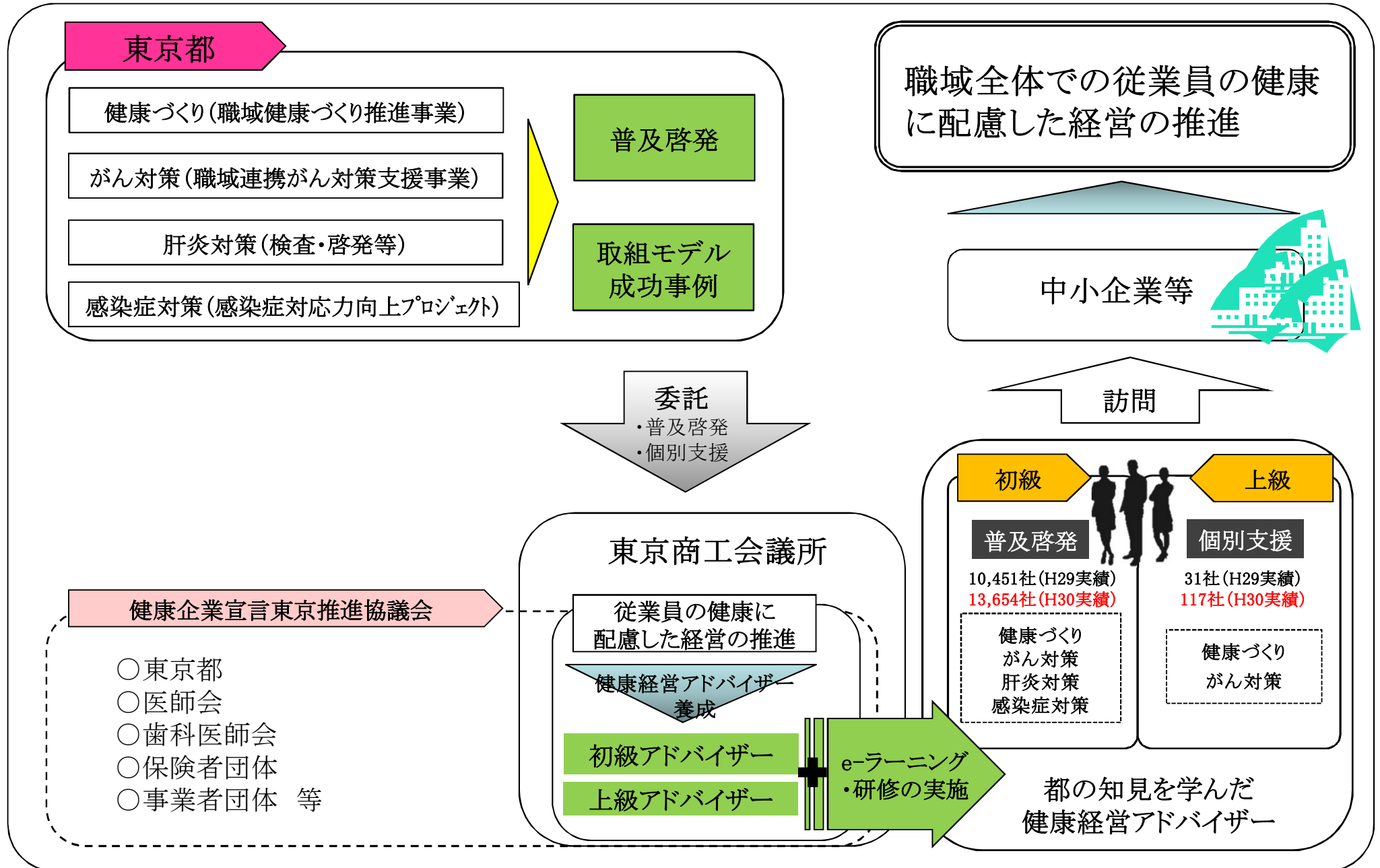
## 肝炎対策の取組実績等について

## 普及啓発について

# 1 肝炎に関する普及啓発

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
世界(日本)肝炎デー 及び肝臓週間における 普及啓発		都庁舎内における受検勧奨等パネル展の開催				
		都広報誌への受検勧奨等記事の掲載				
		ラジオ(TBSラジオ「都民ニュース」)放送による受検勧奨				
		MXテレビ「TOKYOインフォメーション」放送による受検勧奨				
		「とうきょう健康ステーション」(ホームページ)内にて 肝炎に関する説明ページの掲載				
		都庁舎内総合行事案内表示盤への受検勧奨メッセージの表示				
		新宿西口「動く歩道南北掲示板」への受検勧奨等ポスター掲示				
		4号街路柱面ディスプレイへの受検勧奨等 ポスター掲示				
		新宿駅西口地下広場の大型ビジョンでの普及啓発動画の放映				
		デジタルサイネージ「DHC channel」での 普及啓発動画の放映				
		肝炎ウイルス検査 受検勧奨等に関する印刷物等の作 成・配布	<b>都民向け</b>  主な配布先: 区市町村、医 療機関等	①リーフレットの作成・配布 (100,000部)		
①リーフレットの一部(継続) → 改訂(165,000部)						
②ポスターの掲示(継続) (24年度作成11,300部)						
	③ポケットティッシュの配布(継続) (24年度作成2,000個)					
	<b>職域向け</b>  主な配布先: 東京商工会 議所会員企 業、都内健康 保険組合等	①チラシの配布 (100,000部)	①チラシの配布 (100,000部)	①チラシの配布 (100,000部)	①チラシの配布 (100,000部)	①チラシの配布 (100,000部)

## 2 東京都職域健康促進サポート事業



## 肝炎ウイルス検査の実施体制の整備について

## 1 肝炎ウイルスの受検勧奨及び実施体制の整備

### ○肝炎ウイルス検査体制の整備と受検勧奨

- (1) 医療保健政策区市町村包括補助事業(補助率:都1/2)
- ① 肝炎ウイルス検査受検勧奨事業
    - ・受検勧奨リーフレット、個別勧奨リーフレット等の作成費用
  - ② 肝炎ウイルス検査受検歴把握事業への補助(平成26年度より追加)
    - ・肝炎ウイルス検査対象者の過去の受検歴の把握に係る費用
- (2) 健康増進事業(補助率:国1/3、都1/3)  
区市町村が実施する、40歳以上への肝炎ウイルス検査及び個別勧奨に係る経費
- (3) 特定感染症検査等事業(補助率:国1/2)  
都、区及び保健所設置市が実施する、健康増進事業対象者以外への肝炎ウイルス検査に係る経費

### ○肝炎ウイルス検査実績(平成26年度～平成30年度)

<B型>

	平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率
健康増進事業	113,132	778	0.69%	110,233	727	0.66%	97,037	601	0.62%	92,847	571	0.61%	91,009	554	0.61%
特定感染症検査等事業	10,038	85	0.85%	8,968	86	0.96%	10,673	79	0.74%	10,362	62	0.60%	11,221	76	0.68%
計	123,170	863	0.70%	119,201	813	0.68%	107,710	680	0.63%	103,209	633	0.61%	102,230	630	0.62%

<C型>

	平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率
健康増進事業	113,205	578	0.51%	110,298	514	0.47%	97,106	408	0.42%	92,889	347	0.37%	91,058	247	0.27%
特定感染症検査等事業	9,566	21	0.22%	8,259	8	0.10%	9,202	13	0.14%	8,592	15	0.17%	9,291	15	0.16%
計	122,771	599	0.49%	118,557	522	0.44%	106,308	421	0.40%	101,481	362	0.36%	100,349	262	0.26%

## 肝炎医療の提供体制及び人材育成について

# 1 肝炎診療ネットワークの充実

## (1) 医療機関の指定

### ○東京都肝疾患診療連携拠点病院の指定

都の肝炎対策の中心的役割

(2か所)

- ・虎の門病院
- ・武蔵野赤十字病院

### ○東京都幹事医療機関の指定

地域における中核・指導的な医療機関

(11か所)

- ・東京慈恵会医科大学附属病院
- ・慶應義塾大学病院
- ・東京女子医科大学病院
- ・順天堂大学医学部附属順天堂医院
- ・東京医科歯科大学医学部附属病院
- ・東京大学医学部附属病院
- ・日本医科大学付属病院
- ・昭和大学病院
- ・東邦大学医療センター大森病院
- ・帝京大学医学部附属病院
- ・日本大学医学部附属板橋病院

### ○東京都肝臓専門医療機関の指定

社団法人日本肝臓学会理事長から認定をうけた肝臓専門医又は指導医が在籍  
毎月更新し、東京都ホームページで公表

- ・都内 387か所
- ・都外 252か所

合計639か所(令和2年3月1日現在)

\* 東京都肝疾患診療連携拠点病院、東京都幹事医療機関を含む



## (2) 肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会の開催

肝疾患診療連携拠点病院、幹事医療機関、都が、都内の肝炎等治療及び肝疾患診療連携拠点病院事業等について協議する。

<実績>

	回数(回)	幹事(事務局)
27年度	1	武蔵野赤十字病院
28年度	1	虎の門病院
29年度	1	武蔵野赤十字病院
30年度	1	虎の門病院
令和元年度	1	武蔵野赤十字病院

<平成30年度詳細 事務局:虎の門病院>

実施日時	場所	協議内容
平成30年 10月16日(火) 18:30~20:00	都庁第一本庁舎南側16階特別会議室S4	(1)東京都肝疾患診療連携拠点病院事業実績について (2)C型肝炎地域連携パスの運用について (3)職域向けウイルス性肝炎研修会(東京都肝疾患職域コーディネーターの養成)について (4)ウイルス肝炎治療効果判定調査(一次調査・二次調査)について (5)肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について (6)その他(肝炎医療ナビゲーションシステム・知って、肝炎プロモーター制度)

<令和元年度詳細 事務局:武蔵野赤十字病院>

実施日時	場所	協議内容
令和元年 10月28日(月) 18:30~20:00	東京都庁第一本庁舎42階北側特別会議室D	(1)東京都肝疾患診療連携拠点病院事業実績について (2)東京都肝臓専門医療機関の定期報告について (3)C型肝炎地域連携パスの運用について (4)職域向けウイルス性肝炎研修会(東京都肝疾患職域コーディネーターの養成)について (5)肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について (6)その他(東京都ウイルス性肝炎重症化予防推進事業について、ウイルス肝炎治療効果判定調査について)

### (3) 肝炎専門医療従事者研修

肝炎治療等の医療水準の向上に資するため、医療従事者を対象に研修を実施する。

<実績>

	虎の門病院		武蔵野赤十字病院		合計	
	回数(回)	参加者(人)	回数(回)	参加者(人)	回数(回)	参加者(人)
27年度	3	215	3	232	6	447
28年度	3	320	3	183	6	503
29年度	3	359	3	171	6	530
30年度	3	360	3	105	6	465
令和元年度	3	311	2	74	5	385

\* 令和元年度は、4月～12月までの実績

<平成30年度・令和元年度(4月～12月分)実績詳細:虎の門病院>

実施日時	場所	参加者	講師・テーマ
平成30年5月13日 (日)14:00～16:00	赤坂インターシティコンファレンス	医療従事者 138名	見逃せない肝臓病のピットホール 1)『ハイレスク脂肪性肝疾患(Fatty Liver Disease)の見分け方～肝発癌におけるアルコール摂取・肝線維化進展の影響～』講師:虎の門病院 肝臓内科 川村 祐介 2)『肝臓の画像診断 最新トレンド』講師:虎の門病院 肝臓内科医長 斉藤 聡
平成30年7月1日 (日)14:00～16:00	赤坂インターシティコンファレンス	医療従事者 105名	転換期を迎えた肝炎診療 1)『高齢化社会におけるウイルス性肝炎・NASH診療～治療の実態と今後の展望～』講師:虎の門病院 肝臓内科 医長 芥田 憲夫 2)『抗ウイルス療法、新規分子標的薬の登場で変わりゆく肝発癌診療』講師:虎の門病院 肝臓内科医長 小林 正宏
平成30年10月14日 (日)14:00～16:00	赤坂インターシティコンファレンス	医療従事者 117名	『ウイルス性肝炎診療を極める』 1)『究極の進化を遂げたC型肝炎治療とSVR後の課題』講師:瀬崎 ひとみ(虎の門病院 肝臓内科) 2)『B型肝炎治療のup-to-date』講師:鈴木 文孝(虎の門病院 肝臓内科部長)
平成31年4月21日 (日)14:00～16:00	赤坂インターシティコンファレンス	医療従事者 128名	「肝臓病の残された課題」 (1)NAFLD肝発癌の現状と今後の展望 ～肝発癌最新治療の現状も併せて～ 講師:川村 祐介(虎の門病院 肝臓内科) (2)B型肝炎治療～HBs抗原陰性化と発癌抑制をめざして～ 講師:鈴木 文孝(虎の門病院 肝臓内科部長)
令和元年7月21日 (日)14:00～16:00	赤坂インターシティコンファレンス	医療従事者 113名	「実臨床での肝疾患診療のポイント」 (1)高齢化社会におけるウイルス性肝炎・NASH診療 -治療の実態とマネジメントのコツ- 講師:芥田 憲夫(虎の門病院 肝臓センター内科医長) (2)肝臓病の画像診断 -最新トレンド2019- 講師:斉藤 聡(虎の門病院 肝臓センター内科医長)
令和元年9月8日 (日)14:00～16:00	赤坂インターシティコンファレンス	医療従事者 70名	「進行した肝疾患へのアプローチ」 (1)肝疾患とサルコペニア ～肝硬変の予後改善をめざして～ 講師:藤山 俊一郎(虎の門病院 肝臓センター) (2)肝発癌治療の現状と今後の展望 講師:小林 正宏(虎の門病院 肝臓センター内科医長)

<平成30年度・令和元年度(4月～12月分)実績詳細:武蔵野赤十字病院>

実施日時	場所	参加者	講師・テーマ
平成30年7月8日 (日)14:00～16:00	新宿エルタワー	医療従事者 54名	・ウイルス性肝炎治療と治療後の問題点 日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学 神田 達郎 ・脂肪肝の診断、治療、生活指導 武蔵野赤十字病院 消化器科部長 黒崎 雅之 ・仕事と治療を両立させるための医療者の役割 ～C型肝炎治療を含めて 武蔵野赤十字病院 消化器科副部長 板倉 潤
平成30年9月30日 (日)14:00～16:00	府中市市民活動センター「ブラッツ」	医療従事者 22名	・ウイルス性肝疾患の現状・治療について 日本医科大学 消化器内科 厚川 正則 ・肝硬変の治療とサルコペニア 武蔵野赤十字病院 消化器科副部長 中西 裕之 ・脂肪肝と日常生活 武蔵野赤十字病院 消化器科副部長 板倉 潤
平成31年1月27日(日) 14:00～16:00	武蔵野スイングホール	医療従事者 29名	・NAFLD診療における基礎知識-ウイルス性肝炎との相違を踏まえて- 東京女子医科大学病院 消化器内科 准講師 小木曾 智美 ・これからの肝炎診療 武蔵野赤十字病院 消化器科 金子 俊 ・肝臓の症状と日常生活 武蔵野赤十字病院 消化器科 副部長 板倉 潤
令和元年7月14日 (日)14:00～16:00	新宿NSビル	医療従事者 48名	・「B型肝炎・C型肝炎の最近のトピックス」武蔵野赤十字病院 消化器科部長 黒崎 雅之 ・「肝硬変のトータルマネジメント」東京医科大学病院 消化器内科准教授 杉本 勝俊 ・「Up to date:肝疾患診療の注意点」武蔵野赤十字病院 消化器科副部長 板倉 潤
令和元年9月15日 (日)14:00～16:00	武蔵野スイングホール	医療従事者 26名	・「B型肝炎と肝硬変について」武蔵野赤十字病院 消化器科 高浦 健太 ・「脂肪性肝炎の診断と治療」慶應義塾大学医学部 消化器内科准教授 中本 伸宏 ・「ポストアウイルス肝炎の日常生活指導」武蔵野赤十字病院 消化器科副部長 板倉 潤

#### (4) 健康管理手帳の作成・配布

肝炎の病態、治療方法、肝炎医療に関する制度等を記載した手帳を作成・配布し、適切な治療を促進する。

<主な配布先>

都内肝臓専門医療機関、都内診療所、健康保険組合、区市町村等

<作成部数>

	B型	C型
27年度	26,000	26,000
28年度	26,000	26,000
29年度	26,000	26,000
30年度	26,000	26,000
令和元年度	26,000	26,000

## (5) C型肝炎地域連携パスの運用(C型肝炎ウイルス肝炎地域連携推進事業)

### ○概要

C型肝炎においては、従来の治療法(インターフェロン治療)よりも副作用が少なく、治療効果の高い治療法(インターフェロンフリー治療)が進展し、適切な治療とウイルス排除後の継続観察により、肝がんなどの病態悪化を早期発見・治療することが重要となっている。

肝炎診療ネットワークにおいては、かかりつけ医はC型肝炎検査陽性者等を肝臓専門医療機関につなぎ、治療後は診療情報を共有するなど連携しているところであるが、C型肝炎のインターフェロンフリー治療における一層の連携強化を図るため、平成29年7月からC型肝炎地域連携パス(「肝臓手帳」)を運用している。

### ○事業内容

かかりつけ医がC型肝炎ウイルス検査陽性者等を肝臓専門医療機関につなぎ、肝臓専門医療機関が地域連携パスを発行し、登録する。治療終了後は、地域連携パスを活用し、かかりつけ医、肝臓専門医療機関の双方で継続観察を行う。地域連携パス登録者については、肝臓専門医療機関を通じ、毎年度12月に追跡調査を行う。運営主体は東京都肝疾患診療連携拠点病院(武蔵野赤十字病院、虎の門病院)。

### ○令和元年度東京都肝炎対策実施計画における数値目標

登録数 970人

### ○登録者数及び追跡調査結果(人)

	平成29年度※1	平成30年度※1	令和元年度※1
新規登録数	573	314	325
かかりつけ医等から肝臓専門医療機関へ紹介数	64	80	91
累計登録者数	573	885※2	1,210
治療後のウイルス排除数	422	735	1,018
治療後のウイルス排除のうち肝がん発生数	15	34	47

※1 平成29年度は7月～11月、平成30年度は平成29年12月～平成30年11月、令和元年度は平成30年12月～令和元年11月

※2 追跡調査によりインターフェロン治療によるウイルス排除と判明した者2人を除く

### ○C型肝炎地域連携パス協議会の開催(令和年7月18日)

(参加者) 地区医師会代表者、東京都肝疾患診療連携拠点病院、東京都

(議題) 平成30年度地域連携パスの運用状況報告、連携パスの運用におけるかかりつけ医の役割、C型肝炎ウイルス肝炎治療の現状、検査費・治療費助成制度 等

### ○肝臓専門医療機関等への協力依頼

- ・都内の肝臓専門医療機関に対し、地域連携パスの改訂時(令和元年7月)に協力依頼文書を送付。
- ・肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会において幹事医療機関に対し協力を依頼。

## 2 ウイルス性肝炎重症化予防の推進 (ウイルス性肝炎重症化予防事業)

### (1) 初回精密検査

#### ・陽性者フォローアップ事業

区市町村に対し、陽性者の定期的な受診勧奨を行うなどのフォローアップ事業の円滑な推進のため、リーフレットを作成するなどの支援をするとともに、都保健所及び職域が実施する肝炎ウイルス検査の陽性者へのフォローアップを実施する。

#### ・検査費用助成事業

区市町村、東京都保健所又は職域が実施した肝炎ウイルス検査で陽性と判定された後、初めて受ける精密検査費用について助成する(助成回数1回)。

#### <助成決定状況(件)>

	助成件数	
平成26年度	38	* 平成26年10月20日受付開始
平成27年度	197	
平成28年度	137	
平成29年度	94	
平成30年度	115	
令和元年度	65	* 令和元年度は、4月～12月までの実績

### (2) 定期検査

#### ・陽性者フォローアップ事業

定期検査費用の助成により把握した肝炎患者に対し、医療機関の受診や受療状況等を確認し、受診の継続を促す。

#### ・検査費用助成事業

肝炎ウイルスによる慢性肝炎・肝硬変・肝がんで療養中であり、定期的に受ける検査について助成する(助成回数年2回)。

#### <助成決定状況(件)>

	助成件数	
平成26年度	3	* 平成26年10月20日受付開始
平成27年度	21	
平成28年度	23	
平成29年度	40	
平成30年度	67	
令和元年度	51	* 令和元年度は、4月～12月までの実績

【厚生労働省】第24回 肝炎対策推進協議会

(令和元年12月13日開催) 資料抜粋

令和2年度 肝炎対策予算概算要求の概要

令和2年度概算要求 174億円 (令和元年度予算額 173億円)

基本的な考え方

「肝炎対策基本方針」に基づき、肝硬変・肝がんへの移行者を減らすことを目標として、肝炎医療、肝炎ウイルス検査、普及啓発、研究などの「肝炎総合対策」を推進する。

1. 肝疾患治療の促進

89億円 (89億円)

- ウイルス性肝炎に係る医療の推進
  - ・ B型肝炎・C型肝炎のインターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び核酸アナログ製剤治療に係る患者の自己負担を軽減し、適切な医療の確保と受療の促進を図る。
- 肝がん・重度肝硬変に係る治療研究の促進及び患者への支援
  - ・ 肝炎ウイルスによる肝がん・重度肝硬変の特徴を踏まえ、**患者の医療費の負担軽減を図りつつ、肝がん・重度肝硬変治療に係るガイドラインの作成など、治療研究を促進するための支援を実施する。**

2. 肝炎ウイルス検査と重症化予防の推進

40億円 (40億円)

- ・ 利便性に配慮した肝炎ウイルス検査体制を確保し、相談や職域の健康診断における啓発の実施などにより、肝炎ウイルス検査の受検を促進する。また、市町村での健康増進事業において、肝炎ウイルス検査の個別勧奨を実施する。
- 改 肝炎ウイルス検査陽性者への受診勧奨を行うとともに、初回精密検査や定期検査費用に対する助成を行う。また、**新たに、妊婦健診、手術前検査における陽性者を初回精密検査の助成対象とすることにより、肝炎患者の早期治療を促進し、重症化の予防を図る。**

3. 地域における肝疾患診療連携体制の強化

6億円 (6億円)

- 地域における肝疾患診療連携体制の強化
  - ・ 都道府県等への助成により、都道府県と肝疾患診療連携拠点病院を中心とした関係機関の連携を強化するとともに、医療従事者や肝炎医療コーディネーター等の人材育成、肝炎患者等への治療や生活の相談支援等を行い、肝疾患診療連携体制の強化を図る。
- 肝炎情報センターによる支援機能の戦略的強化
  - ・ 国立国際医療センター肝炎情報センターによる肝疾患診療連携拠点病院への支援機能を強化して、地域の肝疾患医療や患者等の支援の向上を図る。
  - ・ 肝疾患診療連携拠点病院の相談員等が、肝炎患者からの相談に対する補助ツールとして活用することができる相談支援システムの運用等を行う。

4. 国民に対する正しい知識の普及

2億円 (2億円)

- 肝炎総合対策推進国民運動（知って、肝炎プロジェクト）による普及啓発の推進
  - ・ 都道府県等や民間企業と連携した多種多様な媒体を活用した効果的な情報発信を通じ、肝炎に関する知識や肝炎ウイルス検査の必要性などをわかりやすく伝える啓発事業を展開する。

5. 研究の推進

38億円 (36億円)

- ・ 「肝炎研究10カ年戦略」を踏まえ、B型肝炎の画期的な新規治療薬の開発や肝硬変の病態解明と新規治療法の開発等を目指した実用化研究と、肝炎対策を総合的に推進するための基盤となる行政的な課題を解決するための政策研究を推進する。特に **B型肝炎の新たな治療薬の開発を進めるとともに、C型肝炎治療後の病態及び経過に関する研究を開始する。**

(参考) B型肝炎訴訟の給付金などの支給

572億円 (572億円)

### 3 肝炎医療費助成の実施 (B型・C型ウイルス肝炎治療医療費助成制度)

#### ○概要

B型・C型ウイルス肝炎のインターフェロン治療、B型ウイルス肝炎の核酸アナログ製剤治療及びC型ウイルス肝炎のインターフェロンフリー治療を行う者を対象として、医療費の一部を助成し、患者の経済的負担の軽減により早期治療の促進を図る。

#### ○新規認定状況

(単位:件)

	インターフェロン			B型核酸アナログ (更新含む)	インターフェロン フリー (再治療含む)
	単剤・2剤	3剤併用	合計		
26年度	433	930	1,363	4,553	1,300
27年度	188	111	299	5,632	7,666
28年度	77	5	82	5,730	4,273
29年度	37	0	37	6,330	2,646
30年度	43	0	43	6,600	2,260
令和元年度	18	0	18	4,835	1,254

\*令和元年度は、4月～12月までの実績

## 4 ウイルス肝炎治療効果判定調査について

### 事業内容

国の研究事業に参加することにより、都におけるB型・C型ウイルス肝炎治療医療費助成の認定患者に関する治療効果を把握し、医療費助成の効果を検証するとともに、行政資料及び医学的基礎資料として活用する。

<具体的な活用方法>

- ・東京都肝炎対策指針改定に際し、推進すべき施策の方向性の検討に活用
- ・東京都肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会において、調査結果に基づき、今後の肝炎対策の検討に活用

### 研究経緯

- 平成21年度～平成27年度(科研費)  
「肝炎に関する全国規模のデータベース構築に関する研究」(目的)治療効果把握、診療レベルの均てん化を目指す(調査対象者)インターフェロン治療患者  
※都は24年度から
- 平成27年度～(国立国際医療研究センター・国際医療研究開発費)  
「ウイルス性肝疾患に関する全国規模のデータベース構築および肝炎医療の均てん化に資する研究」(目的)治療効果把握、薬剤耐性変異が治療に及ぼす影響の検証等(調査対象者)C型肝炎・インターフェロンフリー治療患者  
※都は28年度から

【集計状況】

18自治体・18,591例 (平成31年2月末)

### 【令和元年度実施に向けて】

○実施方法:

- ・拠点病院に委託(虎の門病院を予定)
- ・肝臓専門医療機関に対する調査票配布及び回収  
《委託契約を予定しているところ...》

主任研究者である 国立国際医療研究センター 正木医師より、「国際医療研究開発費が不採択となったため、平成30年度末をもって事業終了」の連絡

対応案

### ○令和元年事業は実施しない

(理由)

- ・データ集計については、医学的観点からの分析が必要であり、主任研究者である国立国際医療研究センターの関与がなければ精度の高い解析が難しい。
- ・インターフェロンフリー治療については、高い著効率が達成できており(内服だけで95%以上の治癒率)、診療レベルの均てん化等、治療については一定の効果が出ている。
- ・C型肝炎については、治療後の肝がん発生の早期診断・治療が課題であり(C型関連肝硬変患者は治療を行っても肝がんのリスクは持続する)、定期的な観察が必要。その対策としては地域連携パスが有効であり、拠点病院には、パスの運営に取り組んでいただくことが望ましい。



## 5 肝がん・重度肝硬変治療研究の促進

(肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業)

### 国の事業概要

○目的

B型C型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の特徴を踏まえ、患者の医療費の負担の軽減を図りつつ、患者からの臨床データを収集し、肝がん・重度肝硬変の予後の改善や生活の質の向上、肝がんの再発の抑制などを目指した、肝がん・重度肝硬変治療にかかるガイドラインの作成など、肝がん・重度肝硬変の治療研究を促進するための仕組みを構築する。

○実施主体

都道府県

○対象者

B型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者(年収約370万円未満を対象)

○対象医療

肝がん・重度肝硬変の入院医療とし、過去1年間で高額療養費の限度額を超えた月が4か月を超えた場合に、4か月目以降に高額療養費の限度額を超えた月に係る医療費に対し、公費負担を行う。

○自己負担限度額

1万円

○財源負担

国1/2 都1/2

### 都における事業実施

○事業開始

平成30年12月

○自己負担限度額

国の1万円に加え、住民非課税世帯に対しては、自己負担額をなしとする。

対象者		助成回数	患者負担限度額(月額)		
			助成前	助成後(国)	助成後(都)
70歳未満	年収約370万円未満	1～3回	57,600円	10,000円	10,000円
		4回～※	44,400円		
	住民税非課税世帯	1～3回	35,400円	10,000円	0円
		4回～※	24,600円		
70歳以上	年収約370万円未満	1～3回	57,600円	10,000円	10,000円
		4回～※	44,400円		
	住民税非課税世帯Ⅱ	/	24,600円	10,000円	0円
	住民税非課税世帯Ⅰ		15,000円		

\*同一の指定医療機関への入院の場合のみ適用あり

○都内所在の指定医療機関数

64か所(令和2年3月1日現在)

○新規認定件数

21件(平成30年12月1日から令和2年2月末まで)

# 「肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業に係る医療機関調査」結果について

## 1 調査について

【目的】 都において、指定医療機関の更なる確保を図り、助成の必要な患者を円滑に制度になげるため、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業に係る医療機関調査を実施する。

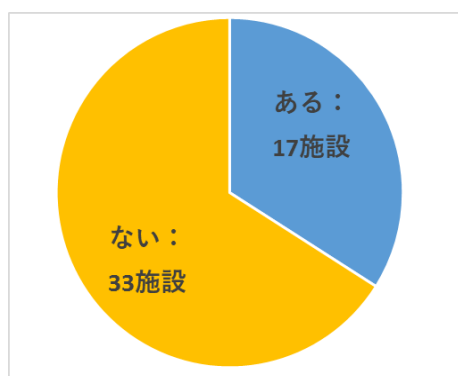
【調査対象】 (1) 都内肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関 65施設  
(2) 都内肝臓専門医療機関で指定医療機関でない医療機関 127施設

【調査期間】 令和2年1月22日から令和2年2月10日まで

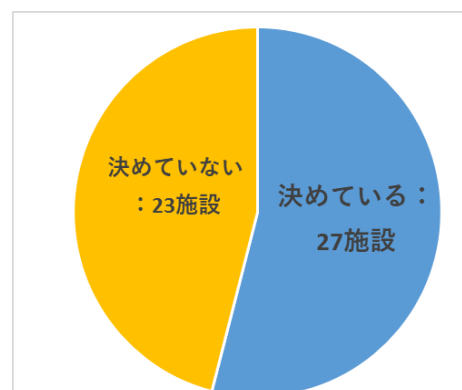
## 2 主な調査結果

### (1) 肝がん指定医療機関への調査(回答数:50施設)

①これまで「肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業入院医療記録票」を記載したことがあるか

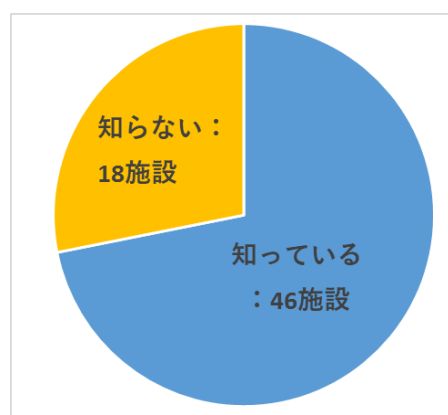


②院内で肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の説明等を行う担当者を決めているか

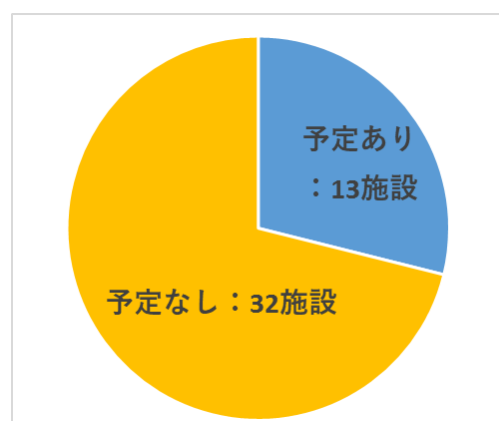


### (2) 都内肝臓専門医療機関への調査(回答数:64施設)

①「肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業」を知っているか



② ①で知っているとは回答した場合、今後指定医療機関となる予定はあるか



## 【厚生労働省】第24回 肝炎対策推進協議会

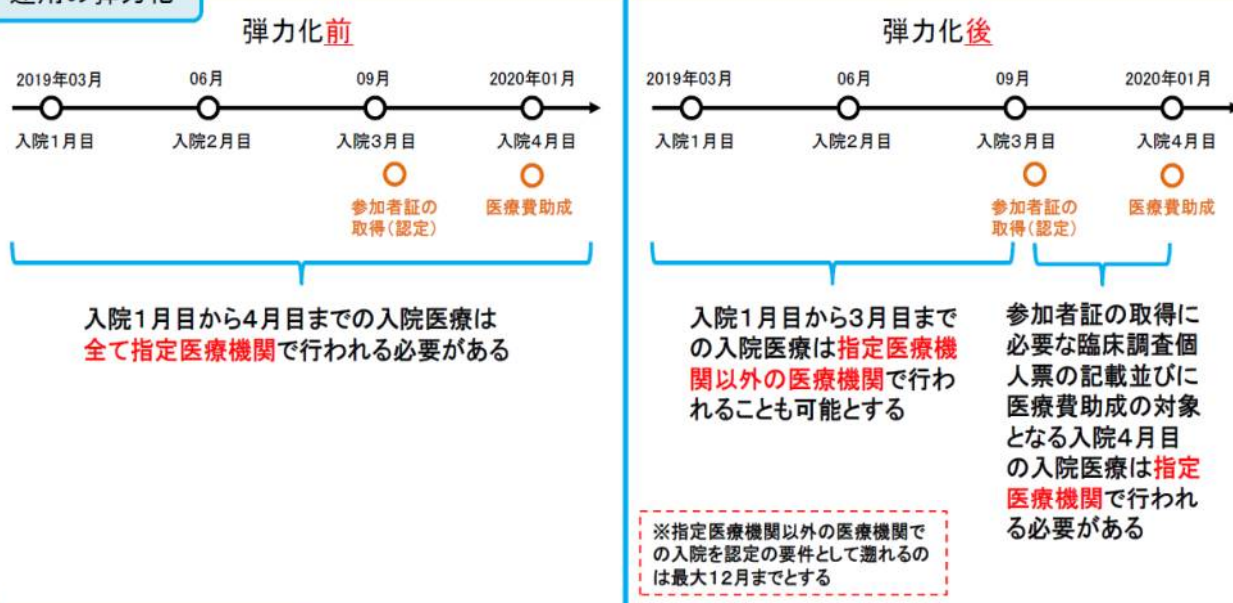
(令和元年12月13日開催) 資料抜粋

### 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の運用の弾力化について

肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について、本来助成を受けるべき患者が円滑に制度につながるよう、認定要件に関し以下に運用の弾力化を令和2年1月から行うこととする。

また、運用の弾力化を行いつつ、引き続き、指定医療機関の確保を行う。

#### 運用の弾力化



#### 指定医療機関の確保

入院記録票の確認時などに指定医療機関以外の医療機関で入院医療が行われていることを都道府県が把握した段階で、当該医療機関に対して個別に指定の働きかけを行うこととする。

## 6 職場での肝炎対策の理解推進 (職域向けウイルス性肝炎研修会)

### ○目的

職域の健康管理担当者等を対象に、ウイルス性肝炎や肝炎対策についての知識を持ち、職域において肝炎の基礎知識や肝炎患者等への偏見の解消、仕事と治療の両立への理解等について普及啓発を行う人材を養成する。また、従業員の肝炎ウイルス検査の受検・検査陽性者の早期受診・肝炎患者の受療を促進するとともに、従業員の仕事と治療を両立するための相談・支援を行う人材を養成する。

### ○活動内容

- ・事業主、人事管理部門、従業員への普及啓発
- ・職域の健康診断等における肝炎ウイルス検査の受検勧奨及び肝炎患者等への受診勧奨
- ・肝炎患者等が治療を受けながら仕事を続けるための職場環境の整備
- ・肝疾患職域コーディネーターの基本的な役割を果たすために必要な活動
  - \*1人で全ての役割を担うのではなく、それぞれの業務の強みを活かして、職域の各部署との連携を図り、従業員の健康管理をサポートする。
  - \*職域における個人情報保護を徹底する。

### ○令和元年度実績

【コーディネーター養成コースⅠ】半日×2回(人事労務担当者等の医療関係の資格を持たない者が対象)

受講者	37人
-----	-----

【コーディネーター養成コースⅡ】半日×2回(産業医、保健師等の医療関係の資格を持つ者が対象)

受講者	25人
-----	-----

コーディネーター養成数(Ⅰ+Ⅱ)

合計	62人
----	-----

(参考)これまでの研修実績

【コーディネーター養成コース】半日×2回(基礎コース終了者が対象、2回とも受講)(原則、医療関係の資格を持つ者)

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
受講者	45人	24人	41人	34人	110人

⇒「東京都肝疾患職域コーディネーター認定証」を交付

【基礎コース】半日×2回(同内容を2回実施。いずれか1回を受講)(医療関係の資格を問わない)

	26年度	27年度	28年度	29年度
受講者	116人	86人	130人	104人

※基礎コースは29年度で終了

## 肝炎患者等への支援について

# 1 肝疾患相談センターの運営

肝炎患者及びその家族等からの相談等に対応するため、肝疾患診療連携拠点病院内に肝疾患相談センターを設置し、電話及び面談による相談対応を行う。

<相談件数実績>

	虎の門 病院	武蔵野 赤十字病院	合計(件)
27年度	1,279	909	2,188
28年度	1,151	655	1,806
29年度	1,466	601	2,067
30年度	1,283	335	1,618
令和元年度	1,046	186	1,232

\* 令和元年度は、4月～12月までの実績

<平成30年度実績(詳細)>

(1)相談者別実績

相談者分類	平成30年度 相談件数	拠点病院別		平成29年度 相談件数
		虎の門病院	武蔵野赤十字 病院	
患者本人	1,105	857	248	1,298
家族・知人	196	133	63	289
患者計	1,301	990	311	1,587
医療従事者等	317	293	24	480
合計	1,618	1,283	335	2,067

(2)居住地別(患者・医療機関)

地域	都 内			都外	その他・不明	計	
	特別区	多摩地域	その他・不明				
件数	746	197	5	325	345	1,618	
拠点病院 別	虎の門病院	689	72	1	289	232	1,283
	武蔵野赤十字 病院	57	125	4	36	113	335

(3)内容別実績(重複計上)

相談内容分類別	平成30年度 相談件数	拠点病院別		平成29年度 相談件数
		虎の門病院	武蔵野赤十字 病院	
疾患・治療	466	237	229	593
ウイルス肝炎	287	146	141	339
肝硬変・肝がん	101	65	36	132
その他の肝疾患	78	26	52	122
制度	464	415	49	739
医療費助成	320	298	22	530
被害者救済関連	117	103	14	175
肝炎検診その他	27	14	13	34
受療先	130	108	22	169
その他	728	667	61	926
合計	1,788	1,427	361	2,427

(4)情報提供

虎の門病院	ホームページ作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<a href="http://www.toranomon.gr.jp/kanzo/">http://www.toranomon.gr.jp/kanzo/</a> として都HP他からリンクし、肝炎の基礎知識や講演会などの情報を患者・医療者双方に向けて継続して発信。</li> <li>また、研修会や肝臓病教室の開催予告を国立研究開発法人 国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センターのfacebookアカウント(<a href="https://www.facebook.com/kanen.ncgm/">https://www.facebook.com/kanen.ncgm/</a>)に掲載。</li> <li>・実施報告や啓発事業の成果等を、同じく肝炎情報センターのホームページ(<a href="http://www.kanen.ncgm.go.jp">http://www.kanen.ncgm.go.jp</a>)にて紹介。</li> </ul>
	リーフレット等作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師向け研修会用リーフレットを作成、都内開業医・各医師会へ発送。(一回の医師向け研修毎に約1万6千枚)4月、8月の2回</li> <li>・肝疾患相談センターのチラシを、1階相談窓口や、6月の市民公開講座および年6回の肝臓病教室にて配布</li> <li>・ネーム入りオリジナルグッズ(万歩計700個・絆創膏1000個・ボールペン1000本・クリアファイル1000枚・トートバック600個)作成し配布</li> </ul>
武蔵野赤十字病院	ホームページ作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝臓病について及び医療費助成制度のページを一部改訂。</li> <li>・肝臓病教室だよりを数回分まとめて掲載できるように当該ページを改訂。</li> </ul>
	リーフレット等作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝疾患相談センターを周知するため、ロゴや連絡先を入れた蛍光ペン・付箋などを作成し、講演会など聴講者に配布。また、患者の集まるイベントでも配布した。</li> </ul>

<令和元年度(平成31年4月～令和元年12月分)実績(詳細)>

(1)相談者別実績

相談者分類	令和元年度 相談件数	拠点病院別	
		虎の門病院	武蔵野赤十字 病院
患者本人	856	725	131
家族・知人	144	108	36
患者計	1,000	833	167
医療従事者等	232	213	19
合計	1,232	1,046	186

(2)居住地別(患者・医療機関)

地域		都内			都外	その他・不明	計
		特別区	多摩地域	その他・不明			
件数		568	150	2	288	224	1,232
拠点病院別	虎の門病院	541	65	2	265	173	1,046
	武蔵野赤十字病院	27	85	0	23	51	186

(3)内容別実績(重複計上)

相談内容分類別	令和元年度 相談件数	拠点病院別	
		虎の門病院	武蔵野赤十字 病院
疾患・治療	299	178	121
ウイルス肝炎	152	90	62
肝硬変・肝がん	61	42	19
その他の肝疾患	86	46	40
制度	294	258	36
医療費助成	179	169	10
被害者救済関連	93	79	14
肝炎検診その他	22	10	12
受療先	114	98	16
その他	666	645	21
合計	1,373	1,179	194



## 2 患者向け講演会

患者のニーズにあった講演会を実施する。

<開催実績>

	虎の門病院		武蔵野赤十字病院		合計	
	回数(回)	参加者(人)	回数(回)	参加者(人)	回数(回)	参加者(人)
27年度	1	266	1	194	2	460
28年度	1	101	1	160	2	261
29年度	1	431	1	163	2	594
30年度	1	820	1	113	2	933
令和元年度	1	732	1	171	2	903

<平成30年度・令和元年度(4月～12月分)詳細:虎の門病院>

平成30年9月1日(土) 13:30～16:00	浅草公会堂	一般都民820名	『肝臓病に負けないいきいきライフ～肝臓の声聞いてみよう～』 1)「もしも、脂肪肝と言われたら..皆さんどうされますか? -正しい知識と、対処法を学びましょう-」講師:虎の門病院 肝臓内科 川村 祐介 2)『脂肪肝の食事療法 -生活習慣を見直そう-』講師:虎の門病院 栄養部 管理栄養士 小清水 孝彦 3)『高齢化社会におけるウイルス性肝炎診療-治療の実態と今後の展望-』講師:虎の門病院 肝臓内科医長 芥田 憲夫 4)『治療や介護を続けながら働き続けるために-さまざまな制度活用のポイント-』講師:東京都社会保険労務士会 がん患者・障がい者等就労支援特別委員会 藤田 久子
令和元年11月9日(土) 13:30～16:00	浅草公会堂	一般都民732名	『一歩ささいく肝臓病対策 ～めざせ 健康年齢マイナス5才～』 1)「治せますか?きっと治せます、その脂肪肝」 虎の門病院 肝臓センター 川村 祐介 2)「正しい知識で感染予防 -肝疾患と感染症-」 虎の門病院 看護部次長 高橋 並子 3)「B型肝炎/C型肝炎最新情報とウイルス制御後の注意点」 虎の門病院 肝臓センター内科医長 芥田 憲夫 4)「肝硬変・肝がんの治療」 虎の門病院 肝臓センター内科医長 小林 正宏

<平成30年度・令和元年度(4月～12月分)詳細:武蔵野赤十字病院>

平成30年7月29日(日) 14:00～16:00	武蔵野公会堂	一般都民113名	1.肝臓病を治療するための「支援のしくみ」日本肝臓学会 理事/武蔵野赤十字病院 院長 泉 並木 2.「ウイルス性肝炎を克服する」大事なポイント武蔵野赤十字病院 消化器科 玉城 信治 3.いま増えている「ウイルスのいない肝がん」にならないために 武蔵野赤十字病院 消化器科部長 黒崎 雅之 4.肝臓病に負けない「食事療法のコツ」武蔵野赤十字病院 栄養課 管理栄養士 遠藤 薫 5.さらに進歩した「肝がんの治療」武蔵野赤十字病院 消化器科副部長 土谷 薫
令和元年7月28日(日) 13:45～16:00	武蔵野公会堂	一般都民171名	1.放っておいてはいけない『脂肪肝』があります 武蔵野赤十字病院 消化器科 玉城 信治 2.新しい治療薬で『すべてのC型肝炎』患者さんが治療できます 武蔵野赤十字病院 院長 泉 並木 3.『B型肝炎』治療しましょう、予防しましょう 武蔵野赤十字病院 消化器科部長 黒崎 雅之 4.肝臓治療の基本は『食事と運動』です 武蔵野赤十字病院 栄養課 管理栄養士 遠藤 薫 5.『肝がんの治療』は進歩しています～治療の最前線とがん免疫療法～ 武蔵野赤十字病院 消化器科副部長 土谷 薫

### 3 患者サロン

患者同士の仲間づくり、悩み等を共有できる患者交流の場を提供する。

<開催実績>

	虎の門病院		武蔵野赤十字病院		合計	
	回数(回)	参加者(人)	回数(回)	参加者(人)	回数(回)	参加者(人)
27年度	6	89	6	73	12	162
28年度	6	127	6	112	12	239
29年度	6	146	8	157	14	303
30年度	6	275	6	88	12	363
令和元年度	4	296	5	68	9	364

\* 令和元年度は、4月～12月までの実績

<平成30年度・令和元年度(4月～12月分)詳細:虎の門病院>

実施日時	場所	参加人数	主な話題
平成30年4月7日(土)14:00～15:00	虎の門病院本館3階 講堂	17名	『肝硬変の食事～腹水・肝性脳症を治療中の方へ～』講師:虎の門病院 栄養部 管理栄養士、助手1名他、医師1名、看護師2名、事務1名
平成30年4月14日(土)14:00～15:00	虎の門病院本館8階第1会議室	30名	『もしも肝硬変ですと言われたら』肝硬変とはどういった状態、良くなるの？悪くなるの？何を注意すればいいの？病態を正しく理解して、正しい対処法を学びましょう。講師:虎の門病院 川村祐介他、看護師1名
平成30年6月16日(土)14:00～15:00	虎の門病院本館3階 講堂	56名	『B型肝炎の最新情報』講師:虎の門病院 鈴木義之他、看護師2名
平成30年11月3日(土)11:30～13:00	港区立男女平等参画センター(リープラ)学習室C、造形表現室、料理室	41名	『脂肪肝を改善させるための食事教室』講師:虎の門病院 栄養部 小清水孝彦他栄養士1名、看護師1名。事務2名、みなと保健所より栄養士1名
平成30年12月1日(土)14:00～15:00	虎の門病院本館3階 講堂	68名	だれでもできる、どこでもできる『いまからできる、脂肪肝治療』…内臓脂肪を減らすために、自分に合った運動療法を一緒に考えてみましょう…講師:虎の門病院 川村祐介、鈴木義之他看護師2名、事務1名
平成31年3月9日(土)14:00～15:00	虎の門病院本館3階 講堂	63名	肝臓にやさしい日常生活のポイント～肝臓がんにならないために～講師:虎の門病院 鈴木義之他看護師1名、事務2名
令和元年6月8日(土)14:00～15:00	虎の門病院1階 講堂	43名	『脂肪性肝疾患、その本質と対処方法』脂肪肝は内臓脂肪の窓！！脂肪肝を改善し、薬物治療に依存しない身体を目指しましょう講師:虎の門病院 川村祐介他、医師1名、看護師2名、事務1名
令和元年7月13日(土)14:00～15:00	虎の門病院1階 講堂	126名	『C型肝炎の新しい治療とウイルス消失後に注意すべきこと』-非代償性肝硬変まで拡大されたインターフェロンフリー治療適応-講師:虎の門病院 芥田憲夫他、医師1名、看護師1名、事務1名

実施日時	場所	参加人数	主な話題
令和元年11月16日(土) 14:00～15:00	虎の門病院 1階 講堂	95名	《専門医にきくシリーズ①》 「専門医に学ぶ、自己免疫性肝疾患 ～ウイルスでも生活習慣病でもない肝炎～」 講師:虎の門病院鈴木義之、看護師2名、事務1名
令和元年12月21日(土) 14:00～15:00	虎の門病院 1階 講堂	32名	《専門医にきくシリーズ②》 「筋肉は第二の肝臓～筋力アップのすすめ～」 講師:虎の門病院 藤山俊一郎他、医師1名、看護師2名、事務1名

<平成30年度・令和元年度(4月～12月分)詳細:武蔵野赤十字病院>

実施日時	場所	参加者	主な話題
平成30年5月31日(木) 14:30～16:00	院内1F山崎記念講堂	15名	テーマ「お医者さんが気になる肝臓のこと」 質問/・HBVジェノタイプとは?・サプリメントは飲んでもよいか?(肝臓への負担)・内臓脂肪は肝臓以外にも蓄積されるのか? 講師:板倉副センター長、司会・進行:石宇相談員
平成30年6月27日(水) 14:30～16:00	院内1F山崎記念講堂	24名	テーマ「やさしい検査値の見方」質問/・総ビリルビンと直接ビリルビンの違い・血液検査の間隔はどのくらいが適正か?・エソグラフィは保険適応ですか?エコーとの違いは? 講師:古屋臨床検査技師、司会・進行:石宇相談員
平成30年9月7日(金) 14:30～16:00	院内1F山崎記念講堂	11名	テーマ「肝臓の様子を見ながらローテク生活の勧め」質問/・肝硬変の人はこむら返りが起きやすいと聞きました。こむら返りによい運動や生活習慣はありますか?・ジョギング30分と徒歩3時間だと、どちらが健康的(脂肪燃焼や血行促進)と言えますか? 講師:伊東理学療法士、司会・進行:石宇相談員
平成30年11月8日(木) 14:30～16:00	院内1F山崎記念講堂	6名	テーマ「肝疾患治療におけるお金のあれこれ」「肝臓病の薬を正しく飲みましょう」質問/・アレルギーのある場合は、漢方薬は飲まない方がよいか?・日赤の差額ベッド代はいくらですか?・開腹手術と腹腔鏡手術での治療費と入院日数は? 講師:井出MSW、宗山薬剤師、司会・進行:石宇相談員
平成30年12月14日(金) 14:30～16:00	院内1F山崎記念講堂	21名	テーマ「肝臓病と糖尿病の関係」「肥満と肝臓病について～食事療法の肝～」質問/・太らないような間食の取り方について・自分に必要なカロリーについて 講師:内分泌代謝科 佐伯医師、板坂管理栄養士、司会・進行:石宇相談員
平成31年2月7日(木) 14:30～16:00	院内1F山崎記念講堂	11名	テーマ「肝臓病と口腔の関係」「正しく知ろう!ウイルス肝炎の感染防止」 講師:口腔外科 道脇医師、広島感染管理認定看護師 司会・進行:石宇相談員
令和元年5月28日(火) 14:30～16:00	院内1F山崎記念講堂	6名	テーマ「肝臓の様子を見ながらローテク生活の勧め」 講師:、伊東理学療法士司会・進行:石宇相談員
令和元年6月19日(水) 14:30～16:00	院内1F山崎記念講堂	19名	テーマ「肝臓病とお酒と健康食品と…」 講師:板倉副センター長、司会・進行:石宇相談員
令和元年10月3日(木) 14:30～16:00	院内1F山崎記念講堂	18名	テーマ「検査データの解釈の仕方」 講師:武田臨床検査技師 司会・進行:石宇相談員

実施日時	場所	参加者	主な話題
令和元年11月12日(火) 14:30~16:00	院内1F 山崎記念講堂	7名	テーマ「病院の役割と生活を支える制度の話」 講師:井手 ソーシャルワーカー テーマ「肝臓病の薬を知って正しく飲もう」 講師:小宮 薬剤師 司会・進行 石宇相談員
令和元年12月17日(火) 14:30~16:00	院内1F 山崎記念講堂	18名	テーマ「肝臓病と糖尿病の関係」 講師:内分泌代謝科 山下医師 テーマ「肝臓にやさしい食事」 講師:佐々木管理栄養士 司会・進行 石宇相談員